

退公連 福島支部だより

第81号

発行所
福島県退職公務員連盟福島支部
〒960-8043 福島市中町5-21
県消防会館内
TEL/FAX (024)522-0612
発行者 齋藤文和

令和4年度 女性部研修会

レッツ エンジョイ 楽しいレクリエーション

講師 レクリエーションインストラクター
齋藤嘉子様

秋の女性部会を11月28日(月)午前10時福島市中央学習センターで開催いたしました。講師の先生は、レクリエーション講座を行っている齋藤嘉子様と一緒に活動されているお二人です。コロナ禍ではありましたが、マスクを付けて「もみじ」の合唱から始まりました。会員の美声が響き、気持ちの良い一時でした。続いて、齋藤文和福島支部長より挨拶をいただき、活動に入りました。プログラムを学校の時間割になぞらえ、始業前には朝の歌「どんぐりころころ」に合わせた手遊び。3番の歌詞には自分で考えて振り付けをするなど、体と頭を使った手遊びをしました。1時間目の算数では、「チクタク チクタク ボン」。倍数に「ドボン」を加えて脳を活性化し、2時間目の理科では、「魚、鳥、木、申すか申すか」です。魚、鳥、木、それぞれ指定された種類の名前を挙げていきます。簡単だと思ふ事なかれ。急に指名されると「う〜ん」と考え込んでしまう

こともあります。業間では左右ちぐはぐの「グーチョキパー」で、3時間目の国語では「手作り芝居」の上演、4時間目は曲に振り付けをして踊る「楽活」(学活)と、あっという間の90分でした。講師の先生が丁寧に教えてくださり、間違っても面白く、参加者全員が和気あいあいと取り組みました。年齢の割に反応が若々しいとお褒めのことを頂戴しました。退職公務員連盟の活動が縮小されている昨今ですが、広い会場を確保し、検温や消毒、換気に気を配りながらの実施でした。女性部は、会員の親睦を図るために少しでも交流の場を設けて活動を継続しています。これからも健康と脳活を意識しながら、生き生きと日々を過ごせるようにと思うこの頃です。

(女性部長 松崎順子)

右:新作用紙芝居
の上演

左下:曲に合わせて
ダンス

下:参加者で記念撮影



年金研修会Ⅱ

毎年実施してきた年金部主催の「年金研修会」を紙上研修の形式で実施することとして2回目の研修内容となります。第1回 年金の全体的構造的な内容に加え、今回は、年金の動的な内容に触れてお話をいただきました。年金受給者として知るべき内容の根幹となる内容に踏み込んでいただきました。どうぞご覧ください。

福島県退職公務員連盟 年金部長 秋山時夫



前回は年金制度の基本的な仕組みをみてきました。今回は、課題やあり方についてみていきます。さて、年金についての関心事項は人それぞれです。

- ⑥ 受給している年代 年金額は来年上がるのか下がるのか? 将来は? 年金だけでは暮らしていけない。など
- ⑥ 退職前後の年代 そもそも年金制度はどうなっているのか? いつからどのくらいの額で受給になるのか? 受給の繰り上げ繰り下げは? など
- ⑥ 現役世代 少子高齢化がさらに進むなかで、年金制度は将来大丈夫なのか? 保険料に見合う給付が本当にあるのか? 保険料が払えない。など

○ 年金の受給額がどのように決まるのか

- ⑥ 基本的には各人の保険料負担(納付した期間や月々の負担額)によりますが、各人の年金額はそれぞれです。保険料を長く多く負担すれば年金額は多くなります。
- ⑥ 次に、各人のベースとなった年金額に、毎年、物価や現役世代の賃金の動向が反映されます。物価や賃金が上がれば年金額は増となります。下がれば減となります。
- ⑥ さらに、マクロ経済スライドにより調整されます。

令和5年度の年金額改定率は次のとおりです。

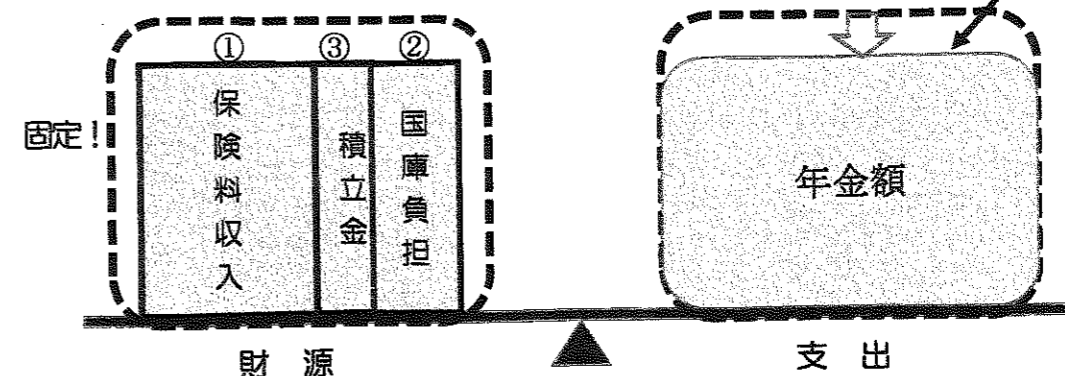
【68歳以上】既裁定者 +1.9%
(前年の消費者物価指数 +2.5%) + (マクロ経済スライドによる調整 -0.6%)

【67歳以下】新規裁定者 +2.2%
(名目賃金変動率 +2.8%) + (マクロ経済スライドによる調整 -0.6%)

※ 今回のマクロ経済スライドによる調整は、-0.6%
(前年度までの未調整分 -0.3%) + (今年度調整分 -0.3%)

- 長期的に見て、公的年金制度の課題のポイントは、今後急速に進行する少子高齢化を見据えて、将来にわたって制度が持続的に安心できるのかどうかです。年金制度の財政の枠組みは以下のとおりです。

少子高齢化が進行しても、財源の範囲内で給付費を賄えるよう、年金額の価値を自動調整する仕組み(マクロ経済スライド)を導入。



一 財 源 一

- ① 保険料収入

厚生年金は、18.3%で労使折半。平成29年度まで毎年引き上げられ、これで固定。国民年金は月16,590円で定額(令和5年度)。保険加入者の拡大への取り組みが課題。
- ② 国庫負担金

基礎年金給付費の2分の1。消費税が5%から8%に引き上げ時、3分の1から2分の1に引き上げ。
- ③ 積立金

概ね100年間の年金財政を考え保有、活用して後世代への給付に充てる必要。
- 一 支 出 一
- ④ 年金額

受給者の増、平均余命の伸びによる増要因。
毎年その収入(財源)の範囲内で支出(年金額)を決める制度「マクロ経済スライド」の導入、つまり、少子高齢化が進行しても、財源の範囲内で給付水準を自動的に調整する仕組みの導入。

○ 現在の年金制度の状況をどう考えるか

- 厚生年金保険の適用範囲が拡大し年金財政安定化に寄与。
短時間労働者が働く企業規模要件を現行500人超から段階的に50人超まで引き下げ。
女性の労働参加等
- 年金積立金の効率的運用によって年金財政は現在、健全。
- 基礎年金への国庫負担(2分の1)、現役世代の保険料率(18.3%で労使折半)、年金受給額の調整(マクロ経済スライド)で、国、個人・雇用主、年金受給者が応分の負担努力をして健全運営に寄与。
- 65歳への定年延長により保険料拠出期間の延長。(最新の要望事項が実現)
- 若い世代が将来受け取る年金は、その時点で働いている人々の賃金の50%を今後も維持する見込み。

以上のようなことから、「年金制度が破綻する、若い世代は年金を受け取れなくなる」といった心配は無用ではないかと思えます。勿論、少子高齢化は今後も進み、制度安定のための努力は引き続き必要です。

公的年金を含む社会保障給付費の財源は、安定した雇用と着実な経済成長による税収及び各種保険料収入の増加等により確保すべきと考えます。現役世代の雇用が安定し、賃金が上がれば年金も安定します。

公的年金制度は世代と世代の助け合いのシステムです。年金受給者は現役世代の保険料で支えられていることへの認識を共有したい。大事なことは次世代に現行制度を引き継ぐことです。

退職公務員連盟は、現行の社会保障制度を創り上げていく上で70余年にわたり大きな役割を果たしてきました。今後も、会員の皆さんの意見を聞きながら、国等に対し年金制度の安定充実に向けて強く働きかけていく必要があります。

投 稿 笹谷5 五十嵐 登 様 「スタグフレーション」から考える

デフレ下で商品の値上げのなかでのスタグフレーション。物価がどんどん上がっている昨今であるが、食料品を減らしてはならない。健康を害しては困ってしまう。

そこで考えられるのは、副業やアルバイトなどをして所得を増やすことである。そして、余裕資金でもって投資することである。その投資は長期でやること。そこで利が乗ったら売却することである。

かつて、政府では、2千万円を提起した。それは退職してから一生の生活において、その金額が必要であることを示唆したことであった。

なお「お金」というものは、物価が上昇すると目減りしてしまう。そうしたことから、経済について勉強しなければならない。

わが国は典型的な少子高齢化になってしまったが、その現状を打開することを考える必要があると思う。なんか明るいことを考えて、生活することがなによりであろう。

【参 照】

スタグフレーション

(名) Stagflation

「三省堂国語辞典」(第7版)より

〔経〕不況なのにインフレが進む現象。

「広辞苑第7版」

(Stagflationとinflationの合成語)不況で生産物や労働力の供給過剰が生じているのに物価が上昇する状態。

おめでとうございます

叙 勲

○ 高齢者叙勲

瑞寶双光章

高 荒 敏 明 様 (森合1・教職)

新 入 会 員 紹 介

- 伊 藤 剛 様 (四区4・県職)
- 小 柴 康 宏 様 (鎌田6・県職)
- 鈴 木 淳 一 様 (笹谷3・県職)
- 菅 原 加代子 様 (杉妻2・県職)
- 関 和 彦 様 (三区2・県職)
- 高 荒 由 幾 様 (森合1・県職)
- 中 村 修 二 様 (岡山2・県職)
- 野 本 雅 彦 様 (飯坂6・県職)
- 守 岡 文 浩 様 (蓬萊3-1・県職)
- 大 島 幸 一 様 (北沢又7・県職)
- 嶋 原 孝 之 様 (森合1・県職)
- 菅 野 雅 浩 様 (鎌田6・県職)
- 角 田 仁 様 (杉妻1・県職)
- 安 達 和 久 様 (飯坂3・県職)
- 大 原 和 弘 様 (二区4・県職)
- 高 島 光 二 様 (信夫1・県職)
- 相 澤 広 志 様 (杉妻1・県職)
- 丹 治 俊 宏 様 (杉妻1・県職)
- 戸 田 光 昭 様 (岡山6・県職)
- 島 田 淳 様 (六区2・県職)
- 室 井 達 雄 様 (四区4・県職)

よろしく御願いたします。

お 悔 み

- 渡 辺 洋 子 様 (信夫3-1・教職)
- 山 崎 恕 様 (北沢又5・県職)
- 今 泉 清 子 様 (二区1・教職)
- 馬 場 平 典 様 (三区2・教職)
- 高 橋 清 様 (鎌田4・県職)

生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

お知らせ

コロナ感染症が流行して3年が経とうとしています。これまで福島支部では、個々人の健康が大事と人が集まる行事はできるだけ避けてきました。しかし、心の健康や人との繋がりも大事なことです。コロナ感染症も第五類へ移行されることもあり、令和5年度は、これまで中止となってきた行事を再開する方向で検討しています。

5月 代議員会・交友会・講演会

8～9月 年金部研修会

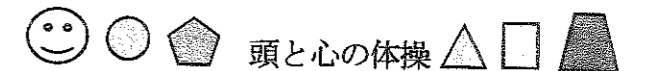
10月 福祉部研修旅行

11月 女性部研修会 等

全ての行事を安全に実施できるよう、計画・実践してまいります。

また、本年度は八幡屋を会場とする県大会石川大会が中止となってしまいましたが、令和6年度は福島大会が予定されています。

コロナ感染症が第五類となっても、感染した場合は、持病のある高齢者の死亡率は高くなっていますので、細心の注意を払って、実施してまいります。会員の皆様方には、様々な行事への参加をお願いしたいと考えています。



頭と心の体操 問題(今回はお休みです。頭を休ませてください。) 江戸の小咄(えどのこばなし)

貧乏神が来て家にずうっといるので、暮らしが楽にならない。説教を聞かせたら退屈して出ていこうと、説教語りを連れてきて「安寿姫と厨子王」を長々とやらせたら、貧乏神が家から涙を流して出ていく。「貧乏神さん。お帰りか。」と聞くと、「いや、あまりにいいお説教なので、一人聞くのも勿体ないから仲間を連れてくる。」

【80号の解答と解説】

海面が1時間に25cm上昇しますが、船も一緒に上昇しますので、6時間経っても船と海面の高さは変わりません。よって、縄ばしごの高さは2メートル40センチのままです。

編 集 後 記

コロナが始まってから毎回、苦心をして記事にしてみました。前回の編集後記で紹介しました「チドリは「私は、私にできることをしているだけです」と答えていました。広報も同じ

来年度からは、以前のように様々な活動の様子を紹介できるものと思います。

……私は何をすべきか。何ができるのか。?? を考えながら。